

平成 18 年 8 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 6 月 21 日

上場会社名 株式会社 U S E N

（コード番号：4 8 4 2 ヘラクレス）

（URL <http://www.usen.com/company/>）

問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 宇野康秀

責任者役職 氏名 常務取締役管理本部長 佐藤英志 TEL：(03) 3509 7112

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識 : 無
の方法との相違の有無

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

- ・引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- ・法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

- ・連結（新規）6社（除外）1社 ・持分法（新規）4社（除外）2社

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 18 年 8 月期第 3 四半期の業績概況（平成 17 年 9 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 8 月期第 3 四半期	123,862	10.2	1,053	81.7	2,153	-	1,234	-
17 年 8 月期第 3 四半期	112,370	26.5	5,769	99.8	3,420	32.2	19,588	-
(参考)17 年 8 月期	154,148		9,531		6,274		27,707	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 8 月期第 3 四半期	16	41	-	-
17 年 8 月期第 3 四半期	286	95	-	-
(参考)17 年 8 月期	395	75	-	-

- (注) 1 . 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
2 . 前四半期及び前期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益については、四半期(当期)純損失が計上されているため、記載しておりません。
3 . 当四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間(自平成 17 年 9 月 1 日至平成 18 年 5 月 31 日)における当社グループは、当社グループを強力なコンテンツホルダーとして、また、新しいメディアとして、グループ内のリソースを最大限に有効活用する構想「メディア・コンテンツ・カンパニー(Media Contents Company)」のもと、あらたなメディアを確固たるものにすべく、平成 17 年 4 月より完全無料パソコンテレビ「GyaO(ギャオ)」の拡大に注力してまいりました。また、安定的な収益源である放送事業、カラオケ事業においては、市場シェアの維持、拡大を図り、ブロードバンド・通信事業においては、引き続き、集合住宅への早期入線と顧客獲得とともに、NTT(日本電信電話株式会社)の光ファイバー網(Bフレッツ)を利用した「GyaO 光 with フレッツ」の営業活動も本格的に開始いたしました。

このような状況の中、当第 3 四半期連結会計期間の業績は、売上高 123,862 百万円(前年同期比 10.2%増)、営業利益は 1,053 百万円(前年同期比 81.7%減)、経常損失は 2,153 百万円(前年同期経常利益 3,420 百万円)

となりました。また、エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社の当社保有株式を一部売却したことなどの要因で特別利益 15,139 百万円を計上したことにより、四半期純利益は 1,234 百万円(前年同期純損失 19,588 百万円)となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

<放送事業>

有線及び衛星による多チャンネル音楽放送を主とする放送事業は、飲食店などの業務店数が減少していることから、マーケットは縮小傾向にあります。依然として、市場における圧倒的なシェアは継続しております。個人市場においては、通信衛星による音楽放送サービス「SOUND PLANET」がご好評を頂いており、増加傾向を続けております。また、モバイル放送株式会社へ移動体向け衛星マルチメディア放送サービスとして、音楽番組コンテンツの供給をしており、未開拓であった移動体向けの市場へも事業を拡大しております。

その結果、当第 3 四半期連結会計期間の売上高は 46,830 百万円(前年同期比 0.2%増)となりました。

<ブロードバンド・通信事業>

当第 3 四半期連結会計期間における光ファイバー・ブロードバンドサービスのユーザー数は、5 月 31 日現在において契約数 649,800 件(前年同期比 39.0%増)、取付数 501,417 件(前年同期比 61.6%増)となっております。ブロードバンド市場におけるユーザーのサービス認知が向上したことに加え、ADSL よりも安価な価格設定をとったサービス「GyaO 光」の加入促進により、ユーザー数は増加してきております。加え、NTT の光ファイバー網(Bフレッツ)を利用した「GyaO 光 with フレッツ」を展開し、放送事業によって培った全国での営業ノウハウを活かし顧客獲得に注力しております。

法人ユーザーに対しては、自社営業のみならず様々な販売パートナーを通じて、顧客開拓を行っております。

その結果、当第 3 四半期連結会計期間の売上高は 23,747 百万円(前年同期比 39.6%増)となりました。

<カラオケ事業>

当社グループのカラオケ事業は、連結子会社である株式会社 BMB が中心となって事業運営しており、業務用通信カラオケの企画・開発・MIDI データ作成・機器販売・機器賃貸・楽曲データの配信・保守に至るまでを一貫して行い、加えて直営によるカラオケルームの運営を行っております。

当第 3 四半期連結会計期間におけるカラオケ市場は、全体に旧機種からの買い替え需要が継続しており、また、新たな業態の進出によりカラオケ機器の導入が見込まれる等、明るい兆しが見えてきました。このような状況の中、当社グループの「UGA」ブランドの更なるシェア拡大を図るべく、業界最上位機種である「uga plus」を昨年 11 月に発売しました。また、テレビCM等により「UGA」ブランドの認知度向上に努めてまいりました。

その結果、当第 3 四半期連結会計期間の売上高は 34,368 百万円(前年同期比 1.0%減)となりました。

<映像・コンテンツ事業>

当社グループは、ブロードバンド市場の普及拡大に伴い、ブロードバンドインフラ上に流通するコンテンツサービスに対してのユーザーニーズが急速に増加してくるものと認識しており、当社グループにおい

て、今後このデジタルコンテンツの流通及びそれに付随したサービスが核となる事業へ成長することが見込まれることから、映像・コンテンツ事業を前連結会計年度から新設いたしました。

放送事業における音楽コンテンツの提供をはじめとして、映像コンテンツの配信、インターネット音楽ダウンロードサイトの運営等、様々なメディアに対し、優良なコンテンツをあらゆる顧客に対していつでもどこでも提供し、メディアの持つ大きな影響力と、コンテンツの圧倒的な制作力と獲得力を持った「メディア・コンテンツ・カンパニー(Media Contents Company)」構想のもと、事業を展開しております。

完全無料パソコンテレビ「GyaO」は、昨年4月のサービス開始から1年を経過し、5月31日現在で視聴登録者は9,755,435人(平成18年6月17日に視聴登録者が1,000万人を突破しました。)となりました。他のブロードバンドを利用コンテンツサイトに比べ、圧倒的な優位性を確立しつつありますが、コンテンツの製作・獲得、広告宣伝費などの先行投資が収益を圧迫いたしました。今後も視聴登録者とともにアクティブユーザーの獲得、平均視聴時間の増加に向けて推進し、新しいメディアとして広告クライアントへもその認知度向上に努めてまいります。また、広告収入以外の収益源として、アフィリエイトモデルや、連結子会社である株式会社ギャガ・コミュニケーションズとのシナジーのもと、自主制作による権利の保有にも注力してまいります。

このような状況の中、当第3四半期連結会計期間の売上高は15,596百万円(前年同期比46.4%増)となりました。

<店舗事業>

店舗事業は、店舗の運営を通じて得られた最終消費者のニーズを活用し、業務店におけるサービスの向上を目的に運営しております。当第3四半期連結会計期間末時点における店舗数は、『アフリカ』『コロニアルリビング』等レストラン系店舗が8店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が8店舗となっております。

このような状況の中、店舗事業の当第3四半期連結会計期間の売上高は2,087百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

<その他事業>

その他事業は、放送事業の業務店顧客に対し、店舗運営の支援となる商材やサービスの提供を行っております。具体的には、各種音響・映像機器の販売や設置、食材流通サービスの提供、金融商品の提供など、多岐にわたります。

このような状況の中、当第3四半期連結会計期間の売上高は1,231百万円(前年同期比18.3%増)となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年8月期第3四半期	306,811	32,643	10.6	433	87
17年8月期第3四半期	263,085	37,530	14.3	499	36
(参考)17年8月期	257,606	30,798	12.0	409	35

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、平成18年5月に株式を取得し、株式会社アルメックスを連結子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ49,205百万円増加の306,811百万円となりました。流動資産は、主として現金及び預金5,485百万円増加、受取手形及び売掛金7,926百万円増加、たな卸資産4,872百万円増加等の要因により前連結会計年度末比27,951百万円増加となりました。また、固定資産は主として連結調整勘定10,545百万円増加、投資有価証券5,783百万円増加等の要因により前連結会計年度末比21,273百万円増加となりました。

負債に関しましては、主として支払手形及び買掛金が8,712百万円増加、短期借入金が33,363百万円増加等の要因により前連結会計年度末より40,105百万円増加し、256,138百万円となりました。

また、株主資本については、主として四半期純利益が1,234百万円となったことにより、1,844百万円の増加となりました。

3 平成18年8月期の連結業績予想（平成17年9月1日～平成18年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	170,000	5,000	1,000	1,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 13円29銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年4月21日に発表いたしました通期業績予想に変更はありません。

通期業績予想（連結）には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4 四半期 事業部門別販売の状況

	18年8月期第3四半期 (当四半期)		対前年 同期増 減率 (%)	17年8月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
放 送 事 業	46,830	37.8	0.2	46,719	41.6	62,493	40.5
ブロードバンド・通信事業	23,747	19.2	39.6	17,011	15.1	24,162	15.7
カ ラ オ ケ 事 業	34,368	27.7	1.0	34,711	30.9	48,223	31.3
映像・コンテンツ事業	15,596	12.6	46.4	10,654	9.5	14,925	9.7
店 舗 事 業	2,087	1.7	6.5	2,232	2.0	2,938	1.9
そ の 他 事 業	1,231	1.0	18.3	1,041	0.9	1,405	0.9
合 計	123,862	100.0	10.2	112,370	100.0	154,148	100.0

5 役員の異動

半期報告書提出日以降、役員の異動はございません。

以 上

添付資料

- ・ 四半期要約連結貸借対照表
- ・ 四半期要約連結損益計算書

四半期連結財務諸表

四半期要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期連結会計期間末 平成18年5月31日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成17年8月31日現在	
		金 額	構成比 %	金 額	構成比 %
(資産の部)					
流動資産					
1	現金及び預金	38,310		32,825	
2	受取手形及び売掛金	30,574		22,647	
3	たな卸資産	18,254		13,381	
4	繰延税金資産	5,066		3,363	
5	その他	28,847		20,028	
6	貸倒引当金	1,712		857	
	流動資産合計	119,340	38.9	91,389	35.5
固定資産					
1	有形固定資産				
	(1) 建物及び構築物	32,946		31,335	
	(2) 土地	35,971		34,076	
	(3) その他	18,030	86,948 28.3	17,289	82,701 32.1
2	無形固定資産				
	(1) 連結調整勘定	32,627		22,081	
	(2) その他	11,085	43,712 14.3	8,359	30,441 11.8
3	投資その他の資産				
	(1) 投資有価証券	31,729		25,945	
	(2) 繰延税金資産	2,774		5,643	
	(3) その他	31,616		30,354	
	(4) 貸倒引当金	9,317	56,803 18.5	8,895	53,048 20.6
	固定資産合計	187,464	61.1	166,191	64.5
	繰延資産	6	0.0	25	0.0
	資産合計	306,811	100.0	257,606	100.0

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 平成18年5月31日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成17年8月31日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
流動負債				
1 支払手形及び買掛金	20,369		11,657	
2 短期借入金	43,932		10,568	
3 1年以内償還予定社債	1,500		1,200	
4 1年以内返済予定長期借入金	22,345		23,156	
5 未払金	13,969		15,109	
6 前受金	10,754		11,387	
7 賞与引当金	2,551		1,210	
8 債務保証損失引当金	2		6	
9 設備等支払手形	822		1,561	
10 その他	19,597		14,774	
流動負債合計	135,843	44.3	90,630	35.2
固定負債				
1 社債	28,500		29,700	
2 長期借入金	75,688		78,294	
3 退職給付引当金	7,337		7,619	
4 その他	8,769		9,788	
固定負債合計	120,295	39.2	125,402	48.6
負債合計	256,138	83.5	216,033	83.8
(少数株主持分)				
少数株主持分	18,029	5.9	10,774	4.2
(資本の部)				
資本金	35,845	11.7	35,845	13.9
資本剰余金	22,197	7.2	27,510	10.7
利益剰余金	27,458	9.0	33,854	13.1
その他有価証券評価差額金	2,035	0.7	1,358	0.5
為替換算調整勘定	25	0.0	58	0.0
自己株式	2	0.0	2	0.0
資本合計	32,643	10.6	30,798	12.0
負債、少数株主持分及び 資本合計	306,811	100.0	257,606	100.0

四半期要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期連結会計期間			前連結会計年度要約連結損益計算書		
		自 平成17年9月1日 至 平成18年5月31日		構成比	自 平成16年9月1日 至 平成17年8月31日		構成比
		金 額	%		金 額	%	
売上高		123,862	100.0	154,148	100.0		
売上原価		71,550	57.8	80,831	52.4		
売上総利益		52,311	42.2	73,316	47.6		
販売費及び一般管理費		51,258	41.3	63,784	41.4		
営業利益		1,053	0.9	9,531	6.2		
営業外収益		1,027	0.8	1,644	1.1		
営業外費用		4,234	3.4	4,901	3.2		
経常利益又は経常損失()		2,153	1.7	6,274	4.1		
特別利益		15,139	12.2	3,091	2.0		
特別損失		10,524	8.5	35,709	23.2		
税金等調整前四半期純利益 又は当期純損失()		2,461	2.0	26,343	17.1		
法人税、住民税及び事業税	262			304			
法人税等調整額	711	973	0.8	448	752	0.5	
少数株主利益		252	0.2	611	0.4		
四半期純利益又は当期純損失()		1,234	1.0	27,707	18.0		